

飯田市上久堅地区まちづくり委員会

—令和4年度—

事業報告書



多くの方の協力により完成された北田遺跡縄文時代復元家屋

この資料は総会（3月29日（水）午後7時30分から）に御持参ください。

令和4年度

上久堅地区まちづくり委員会 活動の総括（事業報告）

- 1 本年度は第3次「上久堅地区基本構想・基本計画」4年目であり、各委員会にて基本構想に基づいた計画を効果的に推進した。
特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながらも、諸行事等「工夫して開催」をした。
- 2 重点施策で、地域の持続可能な運営を見据えた人口減少の抑制に向けた定住策の一つに空き家対策がある。地区の皆様のご協力と片付け等や、地域おこし協力隊の働きもあり、本年度2件の目標に対し3件の売買、1件の賃貸、3件の解体と計7件の空き家を減らすことができた。3年前の「空き家対策特別委員会」発足以来合計18件の解消となり、現在9件が移住定住されている。
また、9月26日に「市長と語るまちづくり懇談会」で要望を行った補助金提案について、市も検討協議され「中山間地域空き家の跡地利用促進解体補助金」として議会へ提案されることとなった。空き家は物件化・解体とも家主との交渉には4～5年かかることや、相続や上下水道など課題もあるが今後の継続に期待したい。
- 3 上久堅地区のシンボルとして地区民の関心の高い北田遺跡公園は、本年度念願の1棟の修復を行った。修復には上久堅小学校の6年生も復元作業に加わり茅葺の体験を行うなど、貴重な学習の場にもなったと思う。9月には佐藤市長をはじめ多数のご来賓を迎え「北田遺跡縄文時代復元家屋竣工お披露目会」を挙行了した。その後整地も行い、続いてベンチや敷地内看板の移設・改修については継続事業としていく。
- 4 「上久堅地区土地利用計画」に基づいた施策として、空き家対策の他に地区内の屋外広告物の改修・撤去等ある中で、本年度は観光振興特別委員会による国道256号の下平中宮境にある大型観光案内看板のリニューアルを行った。
- 5 同じく「土地利用計画」に遊休農地対策がある。上久堅にとって農業は基幹産業で農業振興会議・農事組合法人・中山間直接支払推進会議等が取り組んでいただいているが、役員も高齢化しており厳しい現状にある。
美しい自然・景観・農村風景を守るためにも、野生鳥獣防護柵の維持管理と共に協力していきたい。

6 観光振興特別委員会は神之峰一带の観光開発事業についても検討が開始され、「市長と語るまちづくり懇談会」で発表する中で補助金・アドバイスなど、協力を依頼することもできた。

神之峰の観光開発は単なる観光客の集客だけでなく、上久堅地区の活性化につながる取り組みが必要と考える。

同時に、マスタープランの作成とその継続取り組みが必要と思われる。

7 新春フォーラムでは「飯田市各地区のデータからみる上久堅の地域づくりにおける現状と課題」を学習した。「幸福感、うつの割合、スポーツ、趣味、ボランティアの参加割合、地域への信頼度、愛着等、助け合いの割合」は中程度。他方で、「自治会、学習・教養サークル、老人クラブなど社会参加」は上位に位置する。また、「健診未受診者も少なく、健康意識が高い高齢者が多い」等の分析結果が提示され、次年度の基本構想・基本計画中間年として改善するための中間検証のきっかけとなった。

8 継続審議の役員定数の見直しについて、まちづくり委員会執行役員、生活安全委員会、環境保全委員会、健康福祉委員会等で検討を重ね、提出した削減案に対しては何度も地区の皆様のご意見を聞き、一定の方向付けができた。

令和5年度より運用となるが、そこには新たな課題も見えてくると思う。地区の皆様のお知恵の拝借と、ご協力をお願いしていく。

令和4年度 事業報告

総務文教委員会

1. 人口減少抑制に向けた、地区内への定住策の推進

(1) 定住人口の減少抑制策として移住者を呼び込むため、空き家対策事業に重点を置き取り組んだ。移住者を呼び込むためには住む場所の確保が重要であり、空き家対策特別委員会の活動や地域おこし協力隊の協力もあり、本年度は4件の移住者確保につながった。内訳は空き家対策特別委員会事業報告に記載する。優良な空き家ストックがあれば移住者の確保にもつながるため、今後の活動が期待される。

(2) 飯田市の地域振興住宅においても、堂平区と原平区の地域振興住宅は定住に繋がったとして、次年度に払い下げの予定となった。

2. 人と人のつながりを大切にされた地域づくり

(1) コロナ禍ではあったが、ひさかたの納涼花火や新春フォーラムを実施し、地区内の人々のつながり強化が図られた。「飯田りんごん」は不参加となった。

(2) 保育園や小学校の環境整備事業など継続して行った。

3. 持続可能な組織体制の構築

人口減少や高齢化を見据え、まちづくり委員会の組織体制の見直しを検討し、生活安全委員会と環境保全委員会を統合して新たに安全美化委員会を設置、各委員会の定数についても削減を行うこととなった。

また、女性執行役員については、令和5年度からの委員が既に選出されていることから令和7年度から2名にすることとなった。次年度は、各種事業を精査検討していくこととなる。

4. 情報発信体制の構築

長引くコロナ禍ではあったが、地域おこし協力隊の協力により、地域の話題や季節ごとの風景などホームページの円滑な更新が行えた。

引き続き地区の方が必要とする情報を掲載し、地区外の方にも多数利用いただけるよう更なる内容の充実が期待される。

5. 美しい景観を守るための取り組み

(1) 将来の上久堅地区の美しい自然や田園風景が阻害されないように、地区内の屋外広告物の古くなったり退色し見えにくくなった看板などを撤去、改修して地区内の景観維持向上を図った。また2か所にあった観光案内看板は、1か所撤去し1か所改修を行った。詳細は観光振興特別委員会事業報告に記載する。

(2) 土地利用計画は、まちづくり委員会の安定した活動を基本構想・基本計画と共に支えるものであり、空き家対策や屋外広告物対策などの活動を通じて地区内への浸透を図っていきたい。

6. 子育て支援施策の推進

- (1) 児童クラブ、延長保育については飯田市で行われているが、スタッフは地区内で協力する体制が不可欠であり、今後も引き続き維持できるように努めていきたい。
- (2) 「子育て支援の会」への支援は継続して行った。
- (3) 保護者の負担軽減のため、環境整備事業について地区を上げて実施した。各区年1回事業への参加をお願いすることにしており、子どもが減っているなかで今後も継続が必要と感じている。
- (4) 児童クラブについては、今年度から施設を風張生活改善センターに移転、駐車場の照明を改修、充実した環境での実施となった。

7. 結婚支援施策への取り組み

長引くコロナ禍ではあったが、「紙すき体験&交流会」(当番:下久堅)が10月30日(日)に行われ、1組のカップルが誕生した。
詳細は健康福祉委員会事業報告に記載する。

8. 見守り事業の推進

1人暮らしの高齢者不安軽減のため、「十三の里見守り事業」を今年度も委託事業として実施した。週2回の声かけではあるが不安軽減に有効であり、引き続き継続して実施する。また、後期高齢者の健康維持のため、「十三の里配食サービス事業」への支援も継続して実施した。

9. 「継続事業」として下記の事業の実施

(1) 北田遺跡公園の保存及び活用の検討

本年度は、北田遺跡公園検討委員会がまとめた改修方針に沿い、残り1棟(縄文時代)の解体をまちづくり委員会が中心となり、関係団体の参加をいただき行った。その後、復元工事が行われ、9月には佐藤市長をはじめ多数の来賓のご出席をいただき秋晴れのもと盛大にお披露目会並びに記念イベントを開催した。

(2) 保育園及び小学校の環境整備事業

本年度も各区にお願ひし、各区合計56名の参加をいただき事故もなく無事に作業を終えた。少なくなっている園児や児童の保護者負担を軽減するためにも引き続き実施したい。

5月14日	保育園	3分館	6月4日	小学校	4・5分館
7月16日	保育園	執行役員	9月3日	小学校	6・1分館
9月10日	保育園	2分館			

(3) 農村広場、福祉ゾーン整備及び神之峰城址公園周辺整備

本年度も地区の皆様のご協力をいただき、まちづくり委員会役員と共同で、草刈り、伐木等の整備作業を実施した。同時に各集落の花木の生育状況の確認も行った。日曜日の実施により多数のご参加をいただき、作業もスムーズに終えることができた。当日はその後、「神之峰活性化委員会」による神之峰東側の整備作業も実施した。
(7/17 63名)

(4) 市長と語るまちづくり懇談会

市長と語るまちづくり懇談会は、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出席者を執行役員公民館長と十三の里の代表者に限定、縮小して開催した。限られた時間の中でしたが、地域の活動や活動の中での課題を報告し、佐藤市長並びに市の幹部からアドバイスなどをいただいた。特に、空き家対策では、ネックとなっている解体費用について独自の補助金を提案し、導入の方針が示された。
(9/26 27名)

(5) 飯田りんごん

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不参加 (8/6 -)

(6) 「ひさかたの納涼花火」実施への協力

長引く新型コロナウイルス感染症の不安の中でしたが、感染症対策が実施できる屋外で観客間の距離を十分確保した上で、自分たちの力で少しでも地区を元気にするために、花火の打上を行った。火おこしセレモニー、松明行列、神輿の気負いなどは行えなかったが協賛金も集まり、壮大な花火を見ることが出来て参加者全員が感激をした夏の夜であった。次回は、反省会で頂いた多数のご意見を踏まえて、規模の縮小や人員減少により効率化を図るとともに、火おこし、神輿、篝火は、前回と同様に実施する方向で検討することとなった。

(8 / 15 約300名)

(7) 中山間地域連絡会議

中山間地域（上久堅、龍江、下久堅、千代、三穂、上村、南信濃）7地区のまちづくり委員会等役員が参集し、研修が上久堅公民館ホールで開催された。今回は、「移住・定住に向けた取り組みについて」をテーマに、事例発表として「南信濃1500委員会」について、人口減少の対策や取組などを牧島定好会長に発表して頂いた。次に、長野県で初となる県地域おこし協力隊の杉山豊氏から「選んでもらえる地域になるために」と題して移住希望者や移住者と地域の方とをどう結ぶかなど活動実績を交えて講演頂き、質問等活発にあり理解が深まった。

(1/24 28名)

(8) 新春フォーラム

上久堅保育園遊戯発表、上久堅小学校3年生による方言劇「ばけくらべ」、上久堅地区まちづくり委員会の視察研修発表、日本福祉大学社会福祉学部宮国康弘先生の講演を行った。元気な園児の遊戯や懐かしい方言に触れられた。宮国先生の講演では、飯田市各地区のデータからみる「上久堅の地域づくりにおける現状と課題」について、各種のデータを参考にお話を頂き、その後、4グループに分かれて、「良い指標」「改善が必要な指標」について現状をどう把握しているか、要因は何かを討議し、各代表者の発表について先生からコメントを頂いた。

(1/15 90名)

(9) 研修視察

本年は、上久堅の観光の目玉でもある神之峰の開発や空き家の活用法などの参考とするために、2年ぶりの研修として白馬岩岳方面への視察を行った。情報発信により年間をとおして来場者数が多い状況、集客に繋げるために整備された歩道古民家を補助金など活用してリノベーションした高級リゾート施設などを視察、今後上久堅の観光開発や空き家の活用を検討するうえで参考になることを期待する。

(10/30 14名)

産業建設委員会

1 道路改良等の推進

三遠南信自動車道の飯田上久堅・喬木富田インターから先の工事も着々と行われており、早期開通のため引き続き要望活動を実施した。また国道256号の上久堅地籍は拡幅工事も完了しているが、飯田市街地までのアクセス道路はまだ幅員が狭く改良が必要であるため、同盟会・協議会を通じ要望活動を行った。当該路線は日常生活の重要な路線であるため、今後も安心安全な生活の確保と地域の発展のために要望活動を実施して参りたい。

また各総会や要望活動については、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあったが、総会については書面議決を行い、可能な範囲で要望活動を実施した。

令和4年5月25日	三遠南信自動車道飯喬道路 3工区建設促進期成同盟会総会	(書面議決)
令和4年6月3日	三遠南信自動車道建設促進飯田市九地区期成同盟会 通常総会	(書面議決)
令和4年6月6日	上久堅・下久堅・松尾地区 国道256号改良促進連絡協議会総会 (書面議決)	
	竜峡五地区県道改良期成同盟会総会	(書面議決)
令和4年10月1日	三遠南信自動車道飯高道路11号トンネル完成竣工式	
令和4年10月31日	竜峡五地区県道改良期成同盟会要望活動	
	飯田市勤労者福祉センター	
〃	国道256号改良促進連絡協議会要望活動	〃
令和4年12月19日	竜峡五地区県道改良期成同盟会要望活動	県庁(委任)
〃	国道256号改良促進連絡協議会要望活動	〃
令和4年度中	飯田国道工事事務所長懇談	中止

2 若者の定住促進のため、地域振興住宅の活用促進

堂平・原平地区内の地域振興住宅については、定住に繋がったとして今後2件売却予定であり、本年度は条例改正の同意まで行った。

3 既存建物維持管理等の対策の推進

まちづくり委員会の特別委員会として設置した「空き家対策特別委員会」が3年目となり活動を行った。地域おこし協力隊と各地区の委員が連携を密に行い、今年度目標としていた2件を超える7件の空き家解消を達成することができた。また片付け等手伝いを行った物件が2件となっている。詳細については空き家対策特別委員会事業報告で記載する。

4 上久堅地区所有の公園等の維持管理の推進

北田遺跡公園及び福祉ゾーンの管理については、シニアクラブ連絡会に管理委託し継続して管理を行っている。北田遺跡公園については、「北田遺跡公園検討委員会」で決定した改修方針に沿って、5月29日に上久堅地区まちづくり委員会・観光振興特別委員会・北田遺跡保存会を中心に総勢30名が参加し、もう一棟の縄文時代復元住居の解体を行った。また飯田市で発注した遺跡の改修工事は6月から着手され、上久堅小学校の6年生も復元作業に加わり茅葺の体験を行った。

9月10日には、縄文時代復元家屋が完成しお披露目会を開催した。式典には来賓をはじめとする約60名が参加し、秋晴れのなか行った。

今後の遺跡の活用方法については、地元の子供たちを中心に学習の場となり、また、イベント広場として多くの人が集い、見学や観光等で訪れた方とのふれあいの場となるよう「上久堅のシンボル」として後世に伝える公園を目指して、まちづくり委員会や公民館によって運用する。

神之峰城址公園では神之峰活性化委員会を中心に、接続道路の草刈り及びテレビ塔周辺の下草刈り作業を実施した。また、城址公園のツツジ、サクラの消毒作業も実施した。

コロナ禍ではあったが、上久堅郷土歴史資料館へ訪れる見学者もあり年2回の清掃活動を実施した。

令和4年5月29日・9月10日 上久堅郷土歴史資料館清掃

令和4年7月17日 神之峰城址公園周辺の整備(25名)

令和5年2月26日 樹木等消毒 (5名)

神之峰資料館見学者 市内31名 市外35名 計66名

北田遺跡資料館見学者 市内14名 市外8名 計22名

5 防災意識の高揚

前年度のような梅雨前線による大雨はなく、大規模災害とならなかったが、6月に実施した土砂災害防災訓練では緊急時の体制の再確認を行った。

地震防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。各地区では防災袋の確認・避難場所の確認を各家庭で行われた。

令和4年5月18日 自主防災会総会 公民館

令和4年6月5日 土砂災害防災訓練 全地区

令和4年5月12日 自主防災リーダー養成研修会 公民館

令和4年8月24日 自主防災会防災訓練打合せ 公民館

令和4年9月4日 地震総合防災訓練 中止

令和4年10月中旬 自主防災会防災訓練反省会 中止

6 防災機器設備の充実

自主防災会では、自主防災組織施設整備事業を活用し各支部(各区)の防災備品の整備に努めた。また赤い羽根共同募金の補助を活用して、自主防災会の日赤防災倉庫を上久堅自治振興センター裏駐車場の一画に設置した。

7 遊休農地の解消と活用の推進

- (1) 農業振興会議に執行役員を配置し取組んでいる。遊休農地対策として、本年も大豆(つぶほまれ)の栽培に取り組み「上久堅味噌」として加工するため、丸昌稲垣に240kg納品したが、今後の大豆生産量が課題である。また、遊休農地利用と子供たちの農業体験として、保育園さつまいも作り及び、玉ねぎ作付け手伝いをした。

会議日数 6回(本年2月現在)

作業日数 13回(本年2月現在)

保育園さつまいも畑、草刈り、畝立て及び苗植え手伝い(5/23.5/26)

保育園さつまいも掘り、手伝い(10/12)

保育園玉ねぎ畑、耕起、畝立て、マルチ掛け(10/29、11/16)

保育園収穫祭(11/25)

- (2) 地域内農産物を活用した「信州ひさかたふるさと便」を48個の申込みがあり発送した。(12/10 作業・発送)

また、農事組合では3,677箱の育苗と1,182俵のコンバイン・乾燥糶摺りを実施したが、年々減少している。

8 地区内店舗利用の推進

- (1) 本年度もJAガソリンスタンド維持の支援を実施した。本年度の支援金額は97,768円で、昨年度に比べて10,038円減/年となった。また、給油量は軽油2,683ℓ減/年、軽油628ℓ減/年、店頭灯油1,707ℓ減/年となり、すべての燃料の利用が減ってしまっている状況で、長引く燃料の高騰が原因にあると思われる。土曜日の2円補助は継続しており、まちづくり通信などを活用しPRを行う。

- (2) 上久堅商工会商品券加入店舗で利用できる商品券利用の促進については、現在協力員、集金係の会議時に、飲食費の代替えとして使用した。

9 上久堅ブランド品の模索

食工房「十三の里」が、令和3年の9月から月初めに食パンの販売を開始し地域の皆様をはじめ多くの方に好まれ一周年を迎えた。まちづくり委員会では上久堅ブランド品として位置づけ、PR活動も行いまた助成事業のサポートを行った。市長と語るまちづくり懇談会でも1年間の実績を発表した。

昨年度に引き続き多くの方から継続注文がされ、月約70本の販売実績となっている。また、小野子ニンジンやジュースなど既存の特産品に関しても幅広くPR活動や販売を行った。

10 野生鳥獣による農業被害防止の取り組み

野生鳥獣対策協議会を中心に防護柵の定例作業を2回実施し、維持活動に取り組んだ。工事を発注した箇所はなく、臨時作業を計画し少人数の委員による補修対応で維持は出来た。また、今後工事が必要であると思われる被害個所の確認も行った。

令和4年5月13日 総会
令和4年5月15日、11月13日 定例作業
令和4年12月8日 臨時作業

11 豊かな自然を生かした観光の推進

- (1) 上久堅地区観光イベントの一つとなっている「小川路峠へ登ってみよう」は、新型コロナウイルス感染対策を行い、規模縮小するなか3年ぶりに実施した。一般参加者が6名で、役員も含め約30名がスタートゲートに参集し、秋晴れのなか行われた。また倒木の処理など、「秋葉街道を愛する会」と連携するなかで街道の整備を行った。飯田建設事務所へ整備要望を行った。

令和4年10月2日 小川路峠整備作業
令和4年10月16日 小川路峠へ登ってみよう 参加者6名

- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため農家民泊体験は実施できなかったが、新しく設立された観光振興特別委員会を中心に受け入れ農家の支援を進めた。

12 ホームページ等による地域観光のPR

ホームページは、地域おこし協力隊の協力により更新が継続されている。現在上久堅地区の紹介内容を多く掲載し、またPR動画を作成し映像を新春フォーラムでも紹介した。今後も観光事業や特産品など上久堅をPRできる記事を掲載したい。

13 屋外広告物の撤去、改修

- (1) 「飯田市ムトス助成金事業」を活用して、上久堅観光案内看板のリニューアルをおこなった。
- (2) 昨年に引き続き撤去対象となっている屋外広告物で、まだ実施されていない個所の看板の撤去を実施した。

健康福祉委員会

1 福祉のまちづくりの推進

(1) 高齢者のための事業

ア 一人暮らし高齢者見守り訪問事業の実施

70歳以上独居の方を対象として日帰りバスハイクを行う予定だったが、感染症拡大予防のため中止。代替事業として、民生委員にも協力いただきながら独居高齢者を訪問し、マスクを配布しながら声掛けを行った（56名）。

イ 支部単位による敬老の日祝賀事業の実施（9/18～19）

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、昨年度同様に食事会等は避け、高齢者の皆様を訪問し、お祝いの記念品贈呈等を行った。

(2) 介護を行う方向けの事業

ア 介護者の会の実施

在宅で介護を行っている方を対象とし、リフレッシュを目的としたアロマオイル作りや情報交換会を行った。（介護者5名参加）また、参加出来なかった対象者には、日常生活に役立てていただけるよう、商品券の配布を行った（54世帯）。

(3) 関係諸団体との共同事業

ア 文化祭への協力（公民館主催・隔年開催）

例年は文化祭の中で敬老会を計画・実施しているが、感染症拡大予防のため、中止となった。

イ ひさかたの火まつり参加協力

例年は竹細工コーナー担当等で協力していたが、今年度は感染症拡大予防のため、火まつりに替えて「ひさかたの納涼花火」の実施となり、竹細工コーナー等の実施はなかった。

ウ 平和祈念祭への協力（隔年開催）

遺族会・赤十字奉仕団等と協力して隔年実施している。式典参加者17名。感染症拡大予防のため式典のみとし、直会及び平和学習は行わなかった。

2 住民支え合いマップの有効活用

住民支え合いマップ（災害たすけあいマップ）の更新作業を各区で実施し、災害時に活かせるようにした。更新作業に併せ、主に高齢者世帯や要援護者等を対象として、日常生活における困りごとの聞き取り調査を行った。

3 高齢者の交流の場への支援

シニアクラブ、いきいき教室、ふれあいサロン等への補助。

4 健康福祉の基盤の充実化

(1) 委員研修の実施

飯田市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターを講師に招き、「社会参加と健康寿命 ～居場所と出番～」をテーマに研修会を行った。(7/11 委員12名)

(2) 移送サービス事業の実施

ア 利用者6人 実施回数116回 (※4月～2月末までの実績)

イ 運転者交流会の開催

業務内容の確認や情報交換等を行った。(2/22 運転者11名)

(3) ボランティア活動への支援 (ぬくもりの会)

会員16名により、竜東デイサービスセンターにおけるシーツ交換を行った。当初は原則として週1回の計画だったが、感染症拡大予防の観点から竜東デイとの間で実施可否の調整を行いながらの実施となった。

また、ボランティア会員の募集を随時行った。

5 関係団体への支援

結婚相談員が行う婚活支援活動や研修への支援を行った

今年度実施イベント…竜東4地区合同婚活イベント「紙すき体験&交流会」

地域の伝統技術・産業である紙すき体験や、昼食交流会を行い、1組のカップルが成立した。上久堅地区からは結婚相談員がスタッフとして参加した。(10/30 当番：下久堅地区 一般参加者9名)

6 その他の活動

(1) 会議等

委員会 5回 ・ 役員会 3回

(2) 組織体制の検討と見直し

委員数の削減及びそれに伴う事業の見直しについて提案を行った。

保健推進委員会

1 健康意識向上を目指して

自立した豊かな生活を送るうえで大切なことは心身ともに健康であることです。誰もが生涯現役で健やかに過ごすために「自らの健康は自ら守る」「今の健康状態を維持したままいきいきした幸齢者を目指す」を目的に健康保持増進と健康寿命延伸に向けた働きかけを行いました。

2 各種健康教室の開催

(1) 運動実践講座、ストレッチ体操講座の開催

年間6回実施

ストレッチ体操講師：村澤由美子先生（健康運動指導士）

岡本文先生・赤羽美恵子先生（健康運動指導士）

内容：家庭でできるストレッチ体操、筋力アップ運動

効果的な運動方法と実践

ア 第1回： 6月25日（土）13:30～15:00 参加者11名

イ ~~第2回： 7月23日（土）13:30～15:00~~

ウ ~~第3回： 9月3日（土）13:30～15:00~~

エ 第4回： 11月26日（土）13:30～15:00 参加者7名

オ 第5回： 1月28日（土）13:30～15:00 参加者15名

カ 第6回： 2月25日（土）13:30～15:00 参加者17名

※第2回・第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

家でも実践可能な運動方法に関して地区内回覧

*毎回血圧測定実施

中止の回がありましたが、普段動かさないところをのぼしたり良い運動ができました。

(2) 栄養講座 テーマ：子どもの体と食事を考える

日時：令和5年2月4日（土）10:00～12:00 参加者19名

内容：「子どもの体の成長と課題」「子どもの食事と栄養を考える」

「作ってみよう～簡単おやつ～」

講師：健和会病院 リハビリテーションセンター宮島 恵樹 理学療法士、上久

堅地区食生活改善推進協議会、飯田市保健課保健師

宮島先生のお話を聞き、子どもがすぐに立つことで将来の体づくりに影響があるということ、はいはいが大事だと分かった。また、食事について改めて考える機会となった。

(3) 健康講演会

栄養講座と合わせ、講師を依頼して実施

(4) 常会健康教室

「ゴミがたまると認知症になる!？」と題し、5常会で健康教室を実施した。

月日	常会	参加人数
7月28日	森	8
9月28日	上平	33
10月28日	日影平	8
10月28日	平栗	23
11月28日	原平上・下	10
合計	5常会	82名

※参加された皆さんは、大変熱心に聞いてくださいました。認知症と生活習慣病のつながり、予防するためにできること健診を受ける大切さを知っていただきました。

(5) 健康づくり事業

ア ウェルビクス公開講座

日時：令和4年12月9日（金）10：00～11：30

講師：斉藤先生 参加者 11名

イ 囲碁ボールによる健康づくり（公民館へ協力）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、囲碁ボール戦はありませんでした。

3 役員による各種研修会への参加

(1) 定例会での学習会

月	内容
5月	保健推進委員会活動・感染症について
6月	上久堅地区の現状について
9月	ゴミがたまると認知症になる!？
11月	新型コロナ感染症に関すること
1月	子どもの食事について
2月	姿勢計測機測定とストレッチ

(2) 保健推進委員のための研修会

5/19 飯田市健康福祉委員会代表者会

※正副会長研修会、長野県保健補導員等研究大会、飯伊保健補導員連絡協議会、飯伊支部研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

4 がん検診受診勧奨の取り組み

令和5年度がん検診申し込み兼調査票の取りまとめを常会に協力いただき行った。

発送数 456世帯 提出世帯 352 回収率 77.2% (R5.2.22現在)

公民館

1 企画委員会

今年度の活動も、「明るく・楽しく・元気よく」を心掛け取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大により、中止を余儀なくされた事業もあったが、コロナ禍であっても対策をしながら分館活動を実施し、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々に参加していただくことができ、交流が生まれた。3年ぶりの開催となったふるさと自然体験 2022 は多くの小学生の参加があり、竹灯籠作りや水中生物の観察など思い出作りができた。

- ・分館自主活動 1～5分館のべ97名参加 ※6分館は中止
- ・しめ縄飾り講習会 5分館 20名参加 ※その他の分館は中止
- ・ふるさと自然体験 2022 小学生 33名含む 65名参加
- ・いいだ人形劇フェスタ上久堅地区公演 コロナにより中止
- ・ひさかたの火まつり第一部の支援 コロナにより中止
- ・学級講座・その他事業の企画、運営
- ・十三の郷ウォーキング事業における連携 コロナにより中止

2 文化委員会

今年も、新型コロナウイルス感染拡大のため、人形劇フェスタ、火まつり第1部、文化祭は中止となった。

その中でも、人形劇学習会、上久堅を知る、文化展、令和4年度二十歳の集いは行うことができた。特に上久堅を知るでは、北田遺跡縄文時代住居の改修工事が行われた事もあり、長野県立歴史館から講師を迎え、小学生の子どもたちを中心に現地学習を行った。

- ・いいだ人形劇フェスタ学習会 14名参加
- ・いいだ人形劇フェスタ上久堅地区公演 コロナにより中止
- ・ひさかたの火まつり第一部 コロナにより中止
- ・上久堅を知る「北田遺跡にて、縄文人になろう」 20名参加
- ・上久堅地区文化祭 コロナにより次年度へ延期
- ・上久堅地区文化展 15者約300点以上を展示 のべ100名来場
- ・上久堅地区二十歳の集い 新成人6名、家族・来賓・実行委員 37名参加

3 体育委員会

今年度も新型コロナウイルスの感染対策を考慮しながら、事業内容、運営方法の検討し中止になってしまった事業もあったが、女性スポーツ大会、運動会、スポーツ講習会を行う事ができた。過去約2年体育事業を行う事ができなかつた中、地域住民の交流、親睦を図る事が久しぶりにでき参加者からは大好評であった。

- ・分館対抗女性スポーツ大会 のべ110名参加
- ・AED講習会 11人参加

- ・分館対抗ソフトボール大会 コロナにより中止
- ・上久堅地区運動会 350名参加
- ・冬季スポーツ大会「来季に向けたスポーツ講習会」 80名参加
- ・十三の郷ウォーキング事業における連携 コロナにより中止
- ・Dブロック公民館交流スポーツ大会 5地区40名参加
- ・竜東中学校区交流スポーツ大会 コロナにより中止

4 広報委員会

館報かみひさかたを4回発行し、公民館活動や地域の情報提供、上久堅の自然や歴史、文化に関わる行事を掲載してきた。今年度から印刷会社を変更し紙面の雰囲気を変化させた。また4ページフルカラーで発行させていただいたことを生かし写真を大きく印象的に掲載したり、行事の動画をQRコードで紹介したりと新しい試みにチャレンジした。文化展では一年間の行事取材で撮りためた写真を並べて展示させていただいた。運動会の写真を多く展示し、参加者から好評であった。

- ・館報「かみひさかた」の発行 計4回2,600部発行
- ・館報発送サービス 地区外居住者23名へ発行の都度送付
- ・上久堅写真展 写真約150枚を展示、行事動画等を上映
- ・館報編集学習会 12人参加
- ・Dブロック館報情報交換会 5地区9名参加

5 学級・講座

飯田市公民館の8つの重点事業に基づき、地域に着目した学習と交流を深める取組みを実践した。

- ・乳幼児学級 のべ28人参加
- ・上久堅小学校・PTA・公民館三者共催講演会 約70人参加
- ・図書分館・公民館共催いいた人形劇フェスタ観劇バスツアー コロナにより中止
- ・十三の郷ウォーキング事業 コロナにより中止
- ・南信州狼煙リレー 36人参加
- ・上久堅小学校3年生への方言人形劇の指導（上久堅を学ぶ会との連携事業）
- ・料理教室 コロナにより中止
- ・私たちの暮らし講座（環境学習） コロナにより中止
- ・上久堅の民俗と村誌を読み語る会 のべ47人参加

6 その他

- ・飯田市公民館大会
- ・飯田市女性バレーボール大会 中止
- ・Dブロック小学生交流 中止
- ・Dブロック交流バドミントン大会
- ・上久堅小学校クラブ活動への支援（6名の講師を学校へ紹介）
- ・上久堅小学校3年生総合学習「人形劇」活動への支援
- ・上久堅小学校5年生総合学習「お米づくり」への支援
- ・各種サークル、団体への支援

空き家対策特別委員会

1 会議、作業等

本年度空き家対策特別委員会は下記の活動を行った。

3月5日 空き家片付け作業（下平）令和4年度へカウント

4月25日 第1回空き家対策特別委員会

5月末～8月中旬

各地区で空き家調査一覧表を基に → 家主に声掛け 活動開始

8月31日 第1回各区状況調査の取りまとめ

9月26日 市長と語るまちづくり懇談会で空き家対策活動について発表
及び補助金について提案

9月末～3月中旬

各地区で空き家調査一覧表を基に → 家主に声掛け 活動開始

10月20日 第2回空き家対策特別委員会

1月21日 空き家片付け作業（下平）

2月20日 第3回空き家対策特別委員会

3月10日 第2回各区状況調査の取りまとめ

随時実施：ホームページでの情報提供

2 目標と成果

・本年の目標を2件と定め活動を行ったが、7件と大幅に目標を達成する結果となった。

全体の空き家数 113件 → 106件

解消 7件

地区	件数	内訳
下平区	5件	賃貸1件、売買2件、解体2件
平栗区	1件	売買1件
風張区	1件	解体1件

・9月26日に市長と語るまちづくり懇談会で要望を行った補助金提案について、市も検討協議され「中山間地域空き家の跡地利用促進解体補助金」として予算化され議会へ提案されることとなった。

3 各区からの反省事項)

- ・1件の解消に4～5年かかるケースが多い。家を処分することには相当な決意が必要な為、丁寧に時間をかけて話していく必要性がある。
- ・優良物件の戸数が少ないため確保が必要である。
- ・特別委員会の設置から毎年目標を大きく上回るペースで解消が進んでいる。しかしながら、コロナウイルスによる規制も緩和され、テレワーク実施率は2割まで下がっている状況にある。ピーク時は6割程度あったが今後、都市部からの移住は確実に減っていくと思われる。そうになると、田舎から田舎への移住をより取り込んでいく必要がある。これからは人口増加のための活用方法だけでなく、事業用途などの関係人口増加のための活用も、視野に入れた空き家対策が必要になってくる。

観光振興特別委員会

1 会議、行事等

本年度から始動した観光振興特別委員会は下記の活動を行った。

6/22・7/30・8/23・11/9・12/22・1/25・2/22

観光振興特別委員会（全7回実施）

- ・観光案内看板作成について
- ・「月見の宴」について
- ・神之峰一帯の観光開発事業について（現地確認含む7/30）
- ・北田遺跡縄文時代復元家屋お披露目会企画について
- ・小川路峠に登ってみよう企画について
- ・観光案内看板の構成について
- ・令和4年度事業報告及び会計決算報告について
- 令和5年度事業計画（案）及び会計予算（案）について

令和4年7月23日（土） 文供養準備・式典

（委員長・副委員長・まちづくり委員会 会長・事務局）

令和4年9月10日（土）北田遺跡縄文時代復元家屋完成お披露目会

- ・式典には、来賓者をはじめ約60名が参加
- ・記念イベントでは、人形劇団たこのあし（上久堅小学校3年生）による人形劇「ばけくらべ」、参流亭べら坊の落語を実施

令和4年10月16日（日） 小川路峠に登ってみよう

- ・一般参加者が6名で役員も含め約30名がスタートゲートに参集

※三役会については、観光案内看板作成・北田遺跡縄文時代復元家屋完成お披露目会等について随時実施しました。

2 作業

令和4年5月29日（日） 北田遺跡解体作業参加

- ・上久堅地区まちづくり委員会・観光振興特別委員会・北田遺跡保存会を中心に約30名が参加

令和4年10月2日（日） 秋葉街道整備作業

- ・上久堅地区まちづくり委員会・観光振興特別委員会・秋葉街道を愛する会の総勢20名の方が参加

3 上久堅観光案内看板整備について

上久堅観光案内看板は「ムトス飯田助成事業助成金」と飯田商工会議所上久堅支部からの補助金により整備した。

既存の観光案内看板は、上久堅自治振興センター駐車場横と下平地区の県道と国道の交差点横に設置されていた。当時上久堅観光協会・飯田商工会議所上久堅支部で設置された観光案内看板で、経年劣化により記載内容が不明確な状態にあった。今回の改修では、看板デザインをはじめ、掲載項目について委員会で幾度と検討を重ね、看板の規格は、上久堅地区屋外広告物基準に沿ったサイズとした。QRコードを利用し掲載したことで、上久堅の公式ホームページへの誘導を行い、様々な上久堅の情報取得や閲覧が可能な仕組みとした。

4 反省事項

観光振興特別委員会が発足して2年目となった。コロナ禍で様々な規制がかかるなかできる限りの活動を行った。特に北田遺跡縄文時代復元家屋の完成お披露目会及び観光案内看板の改修については委員会として大きな事業ではあったが、無事実施することができた。また神之峰一帯の観光開発事業については、検討が開始され、市長と語るまちづくり懇談会では活動内容の発表を行い、補助金やアドバイス・協力を頂くよう市へ依頼することもできた。今後どのように進めていくか計画・構想づくりが重要であると思われる。

来年度からは新型コロナウイルス感染拡大に関する規制も緩和されると思われる。上久堅地区の観光案内人養成支援についても検討が必要である。